

(げんぱんめん
びんぱんめん)

責任取ってよ！第7回広域避難者集会

2018年2月12日

1. 主催者あいさつ

2. 東西避難者対談「責任取ってよ！」

東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream 代表	森松 明希子
ひなん生活をまもる会代表	鴨下 祐也
(司会) 東京災害支援ネット (とすねっと) 代表	森川 清

3. 報告＝原発事故による避難世帯の実態調査2017

東京災害支援ネット (とすねっと) 事務局次長 山田 修司

*受付で調査報告書2017を500円で販売しております

(2015年版、2016年版も販売しております)

4. 避難者リレートーク

(司会) きらきら星ネット 信木 美穂

総務者 避難者登録シロム

88人 → 800人 大阪市 びん者

}	京都	3/15
	東京	3/16
	山崎	3/22

{ 把握のめいめい びん者
 カカト " びん者
 帰還地はめいめい " 者 条件?

- 放射能とびん
- 賠償補償 (支援計画あり)

びん住宅 担当者から支援? おかし

おかし

同評びん → 口ふうじ 実害

避難住宅からの「追い出し」は許されません

打ち切られた避難住宅では、避難者が生活しています
残留避難者の生活をかけた話し合いはこれからです
小池都知事は、避難住宅の延長使用を許可してください
ひなん生活をまもる会との話し合いに応じて下さい

一度は放射能に追われ、自立した生活、安住の自宅を奪われました
今度は安倍総理、内堀知事が、避難住宅を奪いにかかりました
原発事故の責任は原子力政策を推進した国にあります
加害者である国は反省せず、東電は救いながらも、
避難者には新たな苦難を強いるのですか？
内堀知事は加害者の味方ですか？
福島県民たる避難者を、
見捨てるのですか？

東京都は最大の避難先です。
動くに動けない避難者は、政府、
福島県、東電との交渉を続けるも、
一方的に住宅提供を打ち切られました。

ひなん生活をまもる会では、打ち切り後の4月以降、
についても、使用許可申請を提出した上で避難住宅
に残留し、理不尽な状況の話し合い解決を求めています。

残留避難者が負けて追い出されてしまえば

後に続く旧避難指示区域の避難者に対する避難住宅も、粛々と打
ちざられてしまうことでしょう。避難者の存在は、今なお広範に広がる放

射能汚染を可視化しているのです。私たちは核汚染、被曝無視の問題、

原発事故被害をうやむやにすることは許しません。理不尽な避難住宅打ち切り

対し、徹底的に抗議します。残留避難者だけでなく、全ての避難者の救済を求めます。

加害者である国と東電は責任を取らせねばなりません。皆様のご協力をお願い致します。

ひなん生活をまもる会は決して諦めません

原発事故被害者の救済には、長期無償の避難住宅が必要です

〒115-0045 東京都北区赤羽2-62-3 マザーシップ司法書士法人(担当:後閑)電話03-3598-0444 FAX 03-3598-0445
カンパ宛先 ゆうちょう口座 記号 10180 番号 20357281 名義 ヒナセンセイカツブマモルカイ メール: hinamamo11@gmail.com

責任取ってよ!

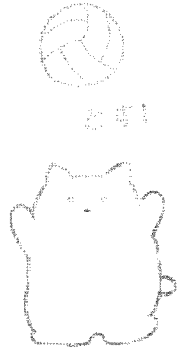
第7回

広域避難者集会

国と福島県は昨年3月、避難区域以外からの避難者に対する避難住宅の無償提供を打ち切り、被害者切り捨てを目論んでいます。

賠償問題では3月16日の東京訴訟な

どで判決が次々言い渡されます。国と東電の責任逃れを許してはなりません。集会で市民が避難者の皆さんと思いを1つにし、しっかり責任を取らせましょう。



2月12日(祝)午後1～3時

場所：弘済会館（四ツ谷・麴町）

（東京都千代田区麴町5-1）

※JR地下鉄四ツ谷駅徒歩5分、地下鉄麴町駅徒歩5分

第1部「責任取ってよ！東西避難者対談」

森松明希子（東日本大震災避難者の会 Thanks&Dream）＋鴨下祐也（ひなん生活を

まもる会）、司会・森川清（とすねっと）／報告＝避難者実態調査▼

第2部「避難者リレートーク」司会・信木美穂（きらきら星ネット）

主催＝東京災害支援ネット（とすねっと）、ひなん生活をまもる会、きらきら星ネット、福島原発避難者の追い出しをさせない！！市民の会▼協力＝福島原発被害東京訴訟原告団、福島原発被害首都圏弁護団、福島原発被害東京訴訟サポーターズ▼連絡先＝ひぐらし法律事務所内・広域避難者集会事務局（山川）☎03-6806-5414。避難者の方は☎0120-077-311

